



杉並区立
浜田山小学校

学校だより 第561号
令和4年度 5月号

はまだやま

校長 緒方 康裕
副校長 越山 宗治

豊かな心が季節を楽しむ

副校長 越山 宗治

私事で大変恐縮なのですが、私が浜田山小学校に赴任して1年が過ぎました。その間、保護者の皆様、そして地域の皆様には、感染者数の増加などが原因で子どものためとはいえながらも、急な変更や様々なご協力の依頼などたくさんの学校からのお願いに多大なるご協力をいただきありがとうございました。このような地域に赴任できたこと、本当に感謝の念が絶えません。これからもよろしくお願いいたします。

さて、この1年このような心持ちで通勤していると、浜田山小近辺の景色も、とてもすてきに思えました。緑の多いこの地域では、四季の移ろいに毎日明日の変化が楽しみでした。思い返してみると、私の子ども時代は、春は湧き水でザリガニを探し、夏は雑木林でクワガタ探し。秋は草むらでバッタ採集をしていました。常に季節を意識して遊んでいた子ども時代ですが、大人になり、毎日様々なことに悩み、忙しさに青息吐息していると、とても周囲の景色や四季の変化など心に入ってくることはありませんでした。そう考えてみると、季節を楽しむためには心にゆとりが必要であり、さらに季節の変化に気付く豊かな心が必要なのではないのでしょうか。私自身は自慢できるほど心にゆとりがあるわけでも、豊かな心をもっているわけでもありませんが、この浜田山小近辺に住まわれている皆様のゆとりある心や他人を思いやれる豊かな心に影響されていると感じています。行き帰りに通る浜田山商店街の雰囲気は私は大好きです。

子どもたちは、きっと子どもの頃の私と同じ様に、遊びの中で季節を楽しんでいると思います。近くに高い建物がない学校の3階からは、富士山もよく見えます。これからどんどん成長していく子どもたちですが、願わくばいつまでも今の心持ちのままで、季節を楽しみ続けられるとよいと思います。学校では、学習や活動の中で、それが実現できるように精一杯指導してまいりますので、これからも皆様のご協力をいただければと思います。

5月の生活目標

【あいさつ名人になろう】

新学期が始まり、1か月が過ぎようとしています。新型コロナウイルス感染症に対する予防にも留意しながら、限度をわきまえながら校庭で楽しそうに遊ぶ姿が見られます。「気持ちのよいあいさつ」「話をしっかり聞く」「正しい言葉遣い」は、今年度も、重点目標として年間を通して呼びかけていきます。

今月の目標は「あいさつ名人になろう」です。礼儀正しく、気持ちよく挨拶ができるように「あいさつ運動」を推進していきます。そして、礼儀正しく、自分から挨拶をすることの気持ちよさを、たくさん味わわせていきたいと考えています。コロナ禍でなかなか大きな声で…ということはありませんが、心地よい挨拶の声が飛び交う浜田山小学校だとよいと思います。高学年がよい手本となっています。

なお、だんだん気温が上昇していきます。汗ふき用のタオル、水分補給のため水筒をご用意ください。